

裁判妨害発生

伴 仁美助役は謝罪しろ！

前田さんのボーナスカット裁判で明らかになった捏造・創作されたカット理由を会社に報告した8名の管理者の一人が伴仁美助役です。

現在、「非違行為・注意指導」が存在したか、しなかったかが裁判での争点となっています。

2月28日に前田さんが指導科の管理者に業務のことで事情を聞かれて退室する際に、事情聴取には全く関係のない伴助役が「注意指導ばかりやな」と係争中の裁判に介入し、本人を非難・軽蔑する問題発言がありました。

前田さんはその発言に対して「それは何ですの、法廷でちゃんと証言して下さい」と返答しました。

その直後、3名の管理者が取り囲み兎玉助役が「何だ暴言だ」と挑発してきました。このことは明らかにパワハラです。

その後、今泉総務科長がその事象から半月以上も経った3月17日、乗務準備中の前田さんに対して突然「伴助役に対しての暴言について反省し謝罪する気はありませんか？」と謝罪・反省を強要してきました。

前田さんは「暴言」とやらについて事情聴取もされていないし、時系列等報告書も作成していません。

したがって、会社が言うところの「暴言」は全く根拠のないものであり、会社ぐるみでの裁判妨害策動に他なりません。

私たちはこの会社ぐるみで仕組まれた、裁判に対する妨害・挑発策動を許さず、毅然と竹本さん、前田さん、山口さんの本人裁判を支援していきます。